

場は、感染が疑われるとの報告があった時点から既に鶏などの移動を制限しており、また、発生した場所から半径3キロ以内の区域では出荷制限がかけられていますので、感染した鶏肉や鶏卵は市場に流通していません。

また、通常、鶏肉、鶏卵は、流通前に洗浄、消毒などが行われており、国内で流通している鶏肉や鶏卵は安全です。

詳しくは、左記の問い合わせ先へお願いいたします。

問い合わせ先

熊本県知事公室広報課
☎096・3333・2027

死亡野鳥を発見した際の対応について

4月13日、球磨郡多良木町で、鳥インフルエンザの発生が確認されました。

県では、死亡したり弱ったりした野鳥が発見された場合、必要に応じて、鳥インフルエンザ感染の調査を行っています。

これは、野鳥がウイルスに感染したことを早期に発見し、野鳥での感染拡大やニワトリなどへの感染を予防するために行っているものです。

皆さんが死亡した野鳥を見つけた際は、次の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先

熊本県自然保護課
☎096・3333・2275

和水町地域づくり活動支援補助金を活用しませんか？

町では、地域の活性化、協働のまちづくりを推進するために、区やその他の公共的団体が自ら考え、行動する地域づくり活動に対し、予算の範囲内で補助金を交付しています。

●補助対象団体

区、里づくり協議会、NPO団体他、地域づくり活動を行う団体

●補助金の交付割合

認定事業費の10／10、3／4、1／2の範囲内（30万円を上限）

●申請期限

5月12日（月）まで

ご不明な点は下記までお問い合わせください。



申し込み・問い合わせ先
本庁 企画課 まちづくり推進係 ☎0968・86・5721

第3回 バーベキュー婚活 in 和水町

と き 5月25日（日）午前10時30分～（受付）
午前11時～（スタート）

ところ 肥後民家村
（和水町江田302 ☎0968・86・4564）

参加費 男女各 2,500円
※昼食、ドリンク、通信費などが含まれます。

締め切り 5月18日（日）午後7時まで（電話またはメールで申し込みください）
※抽選後、当選者のみ20日までに連絡します。
※5月22日（木）以降のキャンセルは全額負担となります。

応募資格 20歳以上の独身の男女各15名（抽選）
※男性に限り、荒尾市並びに玉名郡市にお住まいか、勤務されている人
※男女とも、会員登録が必要です。（当日の入会も可能、登録料無料）

申し込み・問い合わせ先
荒尾・玉名地域結婚サポートセンター ☎0968・78・2543
E-mail arao.tamana.k-s-c@wish.ocn.ne.jp
受付時間：午前10時～午後7時 定休日：火曜日、水曜日

和水町に 献血バスが来ます

- ① 6月4日（水）
和水町役場 本庁
- ② 6月19日（木）
和水町役場 三加和総合支所
- 受付時間 午前9時30分～11時30分
午後0時45分～ 4時

問い合わせ先 本庁 税務住民課 生活環境係
☎0968・86・5723
総合支所 住民課 住民生活係
☎0968・34・3111（内線751）

歴史調査の楽しみ方

I 郭の調査が、さらに進展しました。
後は、西側の絶壁下を残すのみになりました。

北縁西下B区

〔29〕は、細い帯状地形ですが、逆U字形をしており、山頂の北西域を下部から包み込んでいます。段違いの〔29〕―1―2も、その延長部分で犬走りの一種と見なされます。

〔30〕は、〔29〕の西下であり、長方形の平場です。尾根筋が造成されており、長さ21m、幅10m、標高45.3m、山頂の平場に準じる造成地です。見張り場として最適な場所にあります。西下の〔31〕は、高低差4m、長さ14m、幅9mで、この平場に付随する造成地です。〔32〕は、ブーメランの形をした犬走り、東西の高低差5m、幅3.5m、全長45m、〔29〕よりも、造成の度合が高くなっています。

西縁F区

〔33〕は、〔28〕の西下であり、高低差0.8m、最大幅6m、長さ53m、南側寄り、所々崩れていますが、縁部に土塁状の高まりラインを確認できます。溝も形成されていますので、あたかも散兵線の塹壕のようです。下部は、絶壁の状態になります。なお、一部は、かなり以前の、凝灰岩の切り出し作業によって形成された可能性があります。ただし、明らかに、そうでない箇所も存在

江栗城跡

7

大田 幸博

（元・菊水町史編集委員会副委員長）

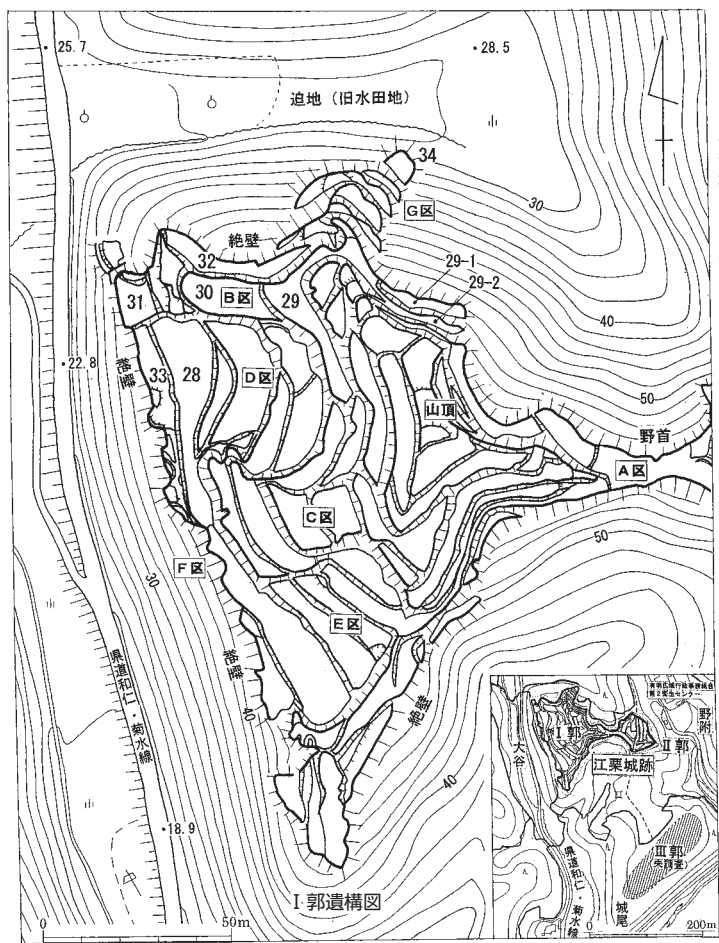
されて、さらに、平成15年に、痛みの進んだ天守の保存修理が行われました。山頂では三百円の入城料が徴収されています。

今回、この城を紹介するのは、今年のNHK大河ドラマの影響で、この「天空の城塞」が二躍、脚光を浴びたからです。平日でも大勢の人が見学に訪れるようになっています。

ここで、大問題が発生しました。麓の城下町から、ある程度、自家用車で行けませんが、途中で、順番待ちが必要となったのです。

と言うのも、八合目の駐車場が狭いために、係員の無線連絡によって、日がな車の出入りを調節しているのです。地元の人々の方が、担当されていました。休日ともなれば、車の長い列ができるそうです。

一方で、八合目までたどり着いた見学者も、車を置いて、山頂まで20分の登山となります。テレビの影響は、凄いですね。山城を調査している者にとっては、うらやましくも思えました。



江栗城跡 周辺図